

報道関係者 各位

2017年12月4日

人間にとって犬とは—その役割と表象の変遷をさぐる

**2017年度 年末年始展示イベント「いぬ」**

国立民族学博物館で2017年12月14日(木)から開催

国立民族学博物館(大阪府吹田市千里万博公園10-1)では、2018年の干支である「いぬ」をテーマにした年末年始展示イベント「いぬ」を2017年12月14日(木)から開催するはこびとなりました。

干支展は2005年の酉年から始まりました。新年の招来を祝い、ご来館のみなさまへ感謝と歓迎の気持ちを込めた、みんなくならではのシリーズ企画です。14回目となる今回は「いぬ」。2018年の干支である戌にちなみ、みんなくが所蔵する犬に関する資料をパネルとともに展示します。人びとの暮らしの中で犬が果たしてきた役割、また、わたしたちが犬に重ねてきた姿や想いを会場で体感していただければ幸いです。



祭礼舞踊用仮面(犬)



張子(犬)

**【展示コンセプト】**

「いぬの役割と表象の変遷—オオカミから犬張子まで—」

犬は遠い昔からわたしたちのそばにいたいへん身近な動物です。時代や地域によって異なるその役割と姿のうつりかわりを、「オオカミから犬へ」、「暮らしの中の犬」、「犬と子ども」、「守り神としての犬」の4つのテーマに沿って紹介します。

## 【コーナー紹介】

### 1. イントロダクション

犬のルーツのひとつと考えられているオオカミは、畏怖すべきものでした。人間の犬に対する原表象ともいえる「異界」を感じさせる資料を入り口で紹介し、犬をめぐる展示のパノラマへと誘います。

### 2. オオカミから犬へ

このコーナーではオオカミの姿をうつした資料とともに、狩猟や役務に活躍する犬に関する資料を展示します。生来の勇猛な性格を備えた頼りになる仲間としての犬の働きを、版画やそりなど実際に使われていた道具とともに紹介します。

### 3. 暮らしの中の犬

モンゴルの春を描いた絵画の複製パネルをとおして、遊牧生活に溶け込む犬の姿を紹介します。会場に設置するデジタルビューアでは、この「春の風景」を 60 インチモニターで拡大して閲覧もできます。モンゴルの人びとの暮らしには、馬や羊、牛などさまざまな動物が登場しますが、犬の立場が他の動物とは少々異なる様子を見ることができます。

### 4. 犬と子ども

犬をかたどった子ども向けの玩具や人形を展示します。子どもにとって犬はときには親兄弟以上に親密な家族ともなります。犬のモチーフには、子どもが健やかに元気に成長してほしいという想いが込められているのかもしれません。

### 5. 守り神としての犬

犬のモチーフは干支としてだけではなく、家庭円満や安産のお守りとしても重宝されてきました。最後のコーナーでは、干支をかたどる土鈴や絵馬、また子どもの初宮参りに用いる「犬張子」など、縁起物に見られる犬の姿を紹介します。

## 【開催概要】

展覧会名	年末年始展示イベント「いぬ」
日時	2017年12月14日(木)～2018年1月30日(火) 休館日:水曜、年末年始(12月28日～1月4日)
会場	国立民族学博物館 本館展示場 ナビひろば
プロジェクトチーム	丸川雄三(国立民族学博物館 准教授)、野林厚志(同教授)、上羽陽子(同准教授)、日高真吾(同准教授)、園田直子(同教授)、戸田美佳子(同機関研究員)、内田吉哉(同機関研究員)、教職員研修チーム、企画課、情報課
観覧料	一般 420 円 / 高校・大学生 250 円 / 中学生以下無料(本館展示と共通)
主催	国立民族学博物館

## 【関連イベント】

## ・ワークショップ

## 「みんなくでいぬをさがそう！」

開催日:2017年12月23日(土・祝)  
対象:子どもから大人まで  
時間:10:00~17:00(16:00 受付終了)  
受付:本館1階 エントランスホール  
場所:本館展示場  
参加費:無料・要展示観覧券  
定員:200名(当日随時受付・先着順)  
※未就学児の方は保護者同伴でご参加下さい。

## ・みんなくミュージアムパートナーズ(MMP)企画

## 「おりがみで遊ぼう！干支シリーズ(戌)」

開催日:2018年1月8日(月・祝)  
時間:<初級コース:いぬの顔>  
11:00~/11:20~/11:40~  
<上級コース:いぬ>  
13:00~/13:30~/14:00~  
※各回 20~30分程度  
場所:本館1階 エントランスホール  
参加費:無料  
定員:各回10名(当日受付・先着順)  
※未就学児の方は保護者同伴でご参加ください。

## 「干支の戌(いぬ)で絵馬をつくろう」

開催日:2018年1月14日(日)  
時間:10:30~16:30(15:00 受付終了)  
場所:本館1階 エントランスホール  
参加費:無料・要展示観覧券  
定員:80名(当日随時受付・先着順)  
※未就学児の方は保護者同伴でご参加ください。

## 「干支にちなんだ西アフリカの昔話をかたる」

開催日:2018年1月14日(日)  
時間:11:00~11:30/13:30~14:00  
場所:本館1階 エントランスホール  
参加費:無料  
定員:当日受付・定員なし  
※未就学児の方は保護者同伴でご参加ください。

年末年始展示イベント「いぬ」広報用画像リスト



【1】祭礼舞踊用仮面（犬）



【2】舞踏用仮面（犬）



【3】彫像（犬）



【4】土人形（狩りの場面）



【5】土鈴（闘犬）



【6】張子（犬）

2017年度 年末年始展示イベント「いぬ」  
広報用画像利用申込用紙〔メールでお申し込みの場合〕 [koho@idc.minpaku.ac.jp](mailto:koho@idc.minpaku.ac.jp)

〔FAXでお申し込みの場合〕 FAX 番号: 06-6875-0401

【ご希望の画像番号】

--

【貴社・貴機関についてお知らせください。】

貴社・貴機関名	媒体名
ご担当者名	所属部署
ご住所 〒	E-mail
電話番号	FAX 番号
ご掲載・放映の予定日が決まっている場合	年 月 日

【プレゼント用招待券】（ご希望の場合はどちらかにチェックを入れてください）

 3組6枚     5組10枚

【広報に関するお願い】

- 写真使用に関するお願い、注意事項
  - ・クレジットには「国立民族学博物館蔵」と記載してください。
  - ・写真（画像）のトリミングや文字乗せはご遠慮ください。
  - ・作品写真の使用目的は、本展の紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。
- 本館の基本情報等の確認のため、メールまたはFAXにて、掲載記事、番組内容の原稿等を下記連絡先までお送り願います。
- お手数ですが、掲載紙・誌または録画媒体を2部お送りください。

【お問い合わせ・送付先】

国立民族学博物館 総務課広報係 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1  
TEL : 06-6878-8560 (直通) FAX : 06-6875-0401 メール : [koho@idc.minpaku.ac.jp](mailto:koho@idc.minpaku.ac.jp)